

チノービオトープフォレストのご案内



ビオトープの概要

- 名称：チノー ビオトープ フォレスト
- 面積：約11,000m²
- 開設：2011年4月
- 所在地：群馬県藤岡市
(チノー藤岡事業所内)



ヤリタナゴの保全

ヤリタナゴは群馬県では藤岡市だけに生息しており、藤岡市は天然記念物に指定して保護しています。チノーは藤岡市とヤリタナゴの保護に関する覚書を締結し、ビオトープを保護の場所として提供しています。



藤岡市がビオトープ内に設置した看板

希少種の生息域外保全

群馬大学や保護団体等と協力し、生息地の環境変化や外来種の影響等で絶滅の危機に瀕している生きものをビオトープで預かり保護しています。



絶滅危惧 I B類



準絶滅危惧



準絶滅危惧



準絶滅危惧

ビオトープ花暦

サクラ・・・4月上旬
 カワデシャ・・・5月中旬～6月中旬
 アサザ・・・6月上旬～7月中旬
 アジサイ・・・6月中旬～7月上旬
 オカトラノオ・・・6月中旬～7月上旬
 トチカガミ・・・7月上旬～7月中旬
 ネムノキ・・・7月上旬～8月上旬
 フジバカマ・・・8月上旬～9月上旬

ビオトープの管理育成

■モニタリング調査

チノービオトープでは群馬大学と協働で植物相モニタリング調査を実施しており、調査結果に基づいた管理作業を行っています。2017年度の調査では在来種85種、外来種40種の計125種の生育が確認され、2011年度から継続して150種前後の植物が確認されています。

■環境情報の計測

気温・水温・地温・湿度を計測するほか、カメラによる育成状況の把握を行い、育成管理の基礎データとして活用しています。

■ビオトープに自生する希少な植物

適切な育成管理を継続してきたことで、絶滅危惧種等に指定されている希少種が毎年確認されています。



コギシギシ



カワヂシャ

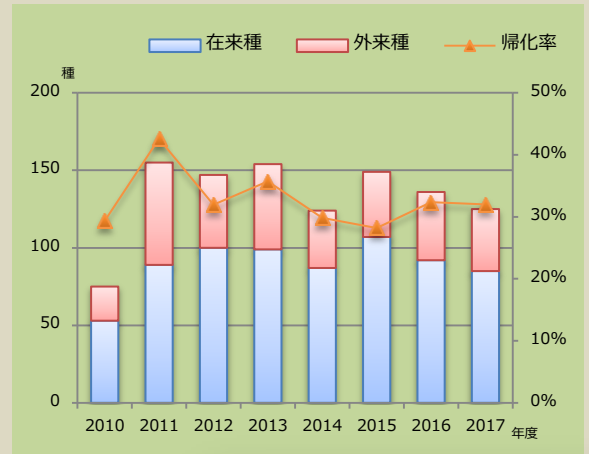


ミゾコウジュ



モニタリング調査の様子

在来種と外来種の推移



ビオトープの活用

■群馬ビオトープフォーラムin藤岡を開催

群馬県及び藤岡市の後援によりフォーラムを初開催。チノービオトープの自然再生の変遷、ヤリタナゴの保護活動、昆虫調査についての発表やビオトープ観察会、環境学習プログラムの発表を行いました。

(2017年9月)

■研究のフィールドとして

群馬大学がビオトープの竣工前から調査研究のフィールドとして活用し、その研究成果は学生が卒業研究として纏め、社内での発表会を通じて従業員と情報の共有を図っております。

(2017年度 通年)

■環境教育の場として

近隣の小学校の児童約100名がビオトープで昆虫や植物探しを行って身近な生物について調べました。

(2016年7月)

■桜の開花時期に開放

近隣の皆様とのコミュニケーションの機会として、ビオトープを特別開放し、300名を超える方が来場され、満開の桜とビオトープの自然を満喫して頂きました。

(2017年4月)

■各種催しの開催

従業員や家族を対象に、バーベキューパーティー、写真撮影講座、生きもの観察会や夜間の星空観察会等を行っています。また、地域の皆さんに開放してホタル観賞会を開催しました。



ビオトープフォーラムの様子



地球温暖化の影響調査の様子



小学生による生きもの観察会



さくら祭りの様子



バーベキューパーティーの様子

一般開放日

■毎週火曜日

■午前9時～午後5時

(11月～2月は午後4時まで)

希望される方は
北門からご自由
にどうぞ

〔問合せ〕

株式会社チノー 環境開発部
〒375-8505 群馬県 藤岡市 森 1
☎0274-42-2111